

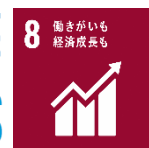
東北中央自動車道の利活用による地域活性化協議会

利活用による地域活性化の取組状況

- ・ 新「道の駅むらやま」（仮称）整備
- ・ 工業団地造成
- ・ 観光振興

令和7年3月24日

村山市建設課





(2) サイトプラン概要

サイトプランの概要を以下のとおりまとめます。

- 東西の駐車場を結ぶ連絡通路は国道を跨いで設置されており、その**独特な意匠からランドマークとして認識**されている。
- 建物は南北に長くファサード（顔）が東側を向いている。その顔の全体像を見る機会はありません、**多くは西側駐車場からの“横顔”を見ながら施設にアプローチ**する。このことが、利用者を施設奥まで誘引するための様々な仕掛けを講じる必要性に繋がっている。
- 西風から利用者を守るように東面にピロティを配置するなど風雪時を考慮した配置となっている。冬季・強風時の安全・安心を確保したことで田園風景は望めなくなっている。**視線を集めるために中央に広場を設けているが、その奥には交通量の多い国道があり、ゆっくり憩う場とは言い難い空間**となっている。
- 24時間トイレが敷地内に分散している珍しい構造のため**維持管理の手間・費用面での負担**が生じている。
- 身障者駐車マスは施設近くに配置されているが、スロープの場所が分かりにくく十分な**バリアフリー化がされていない**。
- 従業員駐車場は施設裏手に配置されており、20台ほど確保されているが、駐車マスが狭い上、駐車台数も不足している。



航空写真出典：道の駅むらやまHP



(1) 整備予定地の位置

新たな道の駅の整備予定地は、国道13号沿い、山形新幹線の停車駅でもあるJR村山駅や市中心部楯岡地区に近い、まちなかにある道の駅です。JR村山駅から約300m、村山ICから約1.5km、山形空港から約9kmの交通アクセスが良い場所で、さらに90分圏内に仙台市・山形市・新庄市といった規模の大きい都市が含まれています。また、観光地として人気の高い銀山温泉も28km程度と近いです。

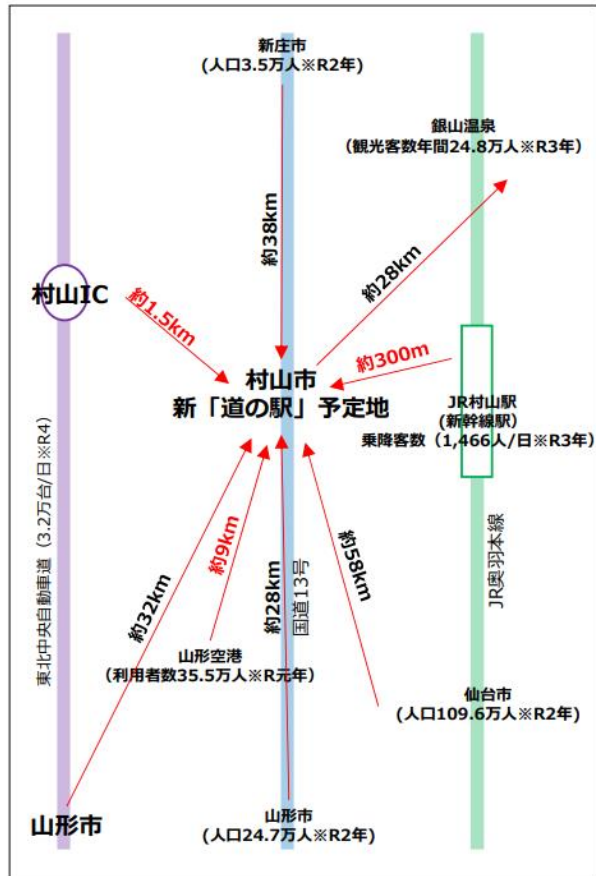


図 整備予定地位置図

地図出典：NTTインフラネット

9. 新「道の駅」のテーマ

本計画策定にあたり行われた市民や市内の事業者の方々、県内・全国の経験豊富な運営事業者の方々などとの意見交換により、村山市の活性化にとって、「市内観光の拠点・ゲートウェイの拠点」「市民の日常利用の場」「コミュニティ形成の促進の場」といった考え方が重要であるという意見が得られました。これらすべては、道の駅に期待されている要素であり、複合化することで相乗効果の発揮も期待される考え方です。一方で、本計画地は、市の商業・にぎわいの中心地である楯岡地区に近接した「まちなかに近い道の駅」です。まちなかには、新たなチャレンジを積み重ねることで“にぎわい”と“なりわい”を生むことをテーマとした「村山市にぎわい創造活性化施設(LinkMURAYAMA)」や、交流と学習によるにぎわいの創造をテーマとした「甌葉プラザ」が設置されています。新たな道の駅は、この先行するコミュニティ施設と役割分担を明確にした新たなテーマを設定します。

新「道の駅」のテーマ

おいしい山形の交通・観光・交流の拠点として地域経済活性化の起爆剤となる施設

新たな道の駅は、観光客をメインターゲットに、本市の様々な魅力を地域が一丸となってPRし、消費を促すことで地域経済が活性化することの起爆剤となる施設として整備します。

観光客をメインターゲットとしてはいますが、もちろん地元の方々の積極的な利用により支えて頂くことが重要です。そのために、市民の皆さんに愛される道の駅となるようなコンテンツの導入を図ります。さらに「LinkMURAYAMA」や「甌葉プラザ」を中心としたコミュニティ活動の成果を魅せる場とするなど、積極的な市民活動の取り込みを図っていきます。

その結果、「LinkMURAYAMA」や「甌葉プラザ」と連携した市民中心によるまちづくりがけん引されることで、市民の方たちが誇りに思い、また新たな若い世代の定住を誘発するものとなるよう計画を取りまとめます。



CONCEPT

— コンセプト —

資料 6 - 5

**とまる、やすらぐ。
めぐる。
みつける。**

新たな「道の駅むらやま」は、高速道路と一般道の結節点、景色が変わる境界線に立地します。ここは、足をとめて心からやすらげる場所であると同時に、ここから村山市の素敵なお店・景観・体験たちをめぐる、発着の拠点でもあります。

思わず立ち寄りたくなる仕掛け、リピートしたくなる仕掛け、新しい価値を生み出す仕掛けなど、ワクワクするような仕掛けをご用意し、観光を楽しんでいる方、外国の方、ドライバーの方はもちろん、市民の皆さんも訪れて楽しい場所を目指します。

訪れる度に新しい発見と出会う、心躍る拠点。それが新しい「道の駅むらやま」が目指す姿です。

< とまる >

利用者が足をとめて村山市の魅力を感じてくれる道の駅。



< やすらぐ >

交通の要衝として、ドライバーやご家族の休憩場所として選ばれた道の駅。

- 開けた農村風景と、山間の風景との景色の変わり目であるという特性を踏まえ、ドライバーの休憩地として選ばれたよう特徴的なサービスを提供することを求めます。
- 長距離ドライバーや村山地域、山形県内の旅行者等、地域住民など、道の駅の利用者はさまざまですが、利用者の多様な体験ニーズに応える仕掛けとして、例えばドライバーの深夜利用を想定し、冷凍食品等を完全セルフサービスで利用できる24時間対応フードコートを設置（災害発生時には防災準備場所と連携した運用も想定）することなど、特徴的なアイデアの実装を求めます。



< めぐる >

村山市の魅力を見て知ってもらえる発着地となる道の駅。

- 村山市内をはじめ、この地域を広く周遊して楽しんで頂く行動に繋がるような情報の発信や、市内各種体験ツアーの案内窓口機能の設置を求めます（市と連携）。
- 本市の市街地や農村部へ向く仕掛けを用意することで、市内をめぐる動線付けや滞在時間の延長に繋がるような特徴的なアイデアの実装を求めます。例えば、市内事業者との連携によるまち歩きツアーの配布により、道の駅を拠点に市内の観光地や商店を通ってもらうことなどをイメージします。
- 徳内祭など、市内の伝統文化を力強い形で見てもらえるよう、工夫された映像端末を設置します。



< みつける >

希望に満ちた、これからのむらやまに繋がる新たなにぎわいの拠点となる道の駅。

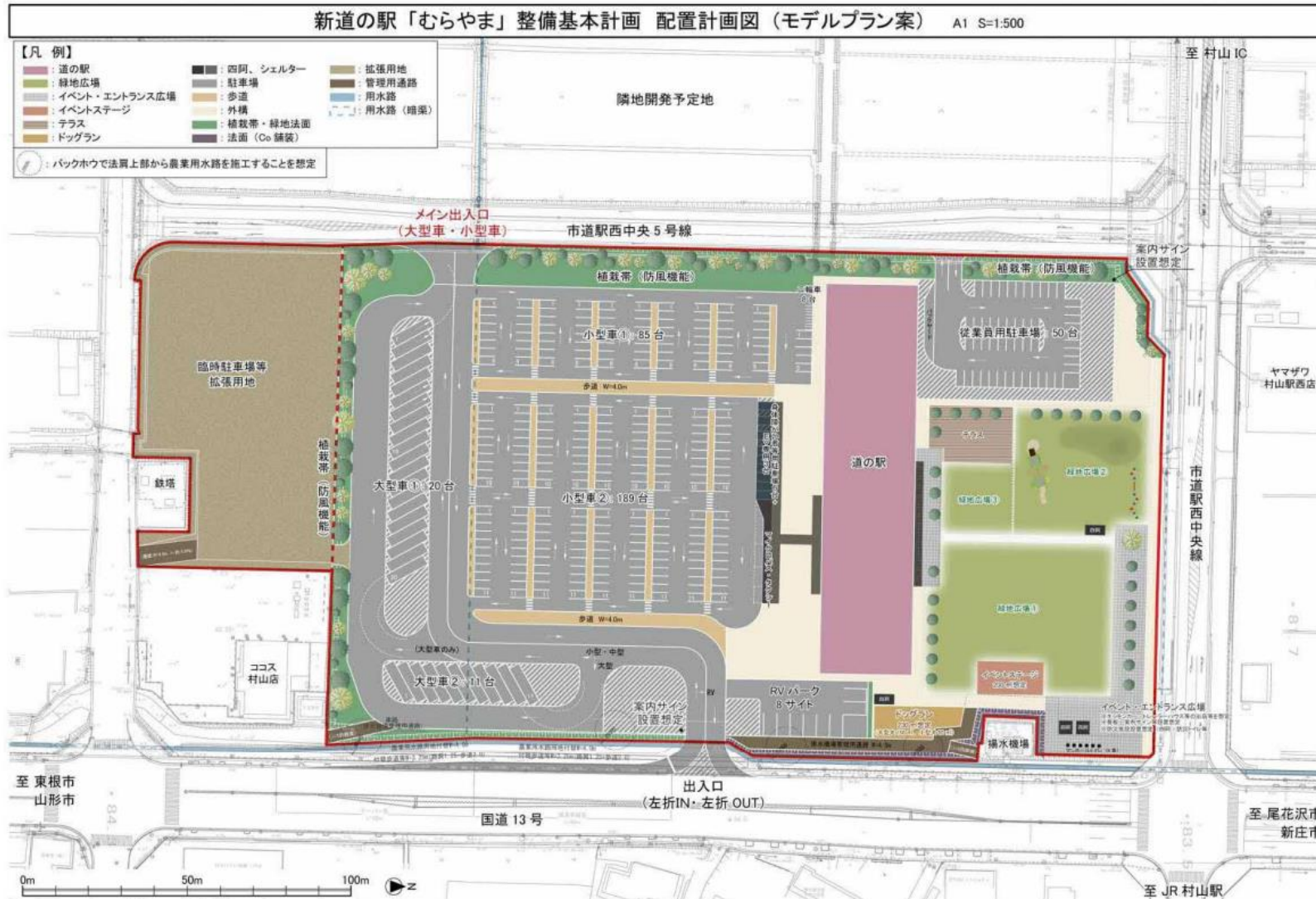
- 村山市の魅力を感じられる・発信できるイベントの開催や、親子で楽しめる体験機会の提供、また子ども達の遊び場空間の創出などを通じ、村山市の全国的な知名度や市民の愛着を高め、住み続けたい・住んでみたいという方を増やしていくことに繋がっていくような主体的な活動を求めます。
- 子どもたちがワクワク・すくすく成長できる場を、道の駅だけではなく村山市内の様々な場所と連携し提供しよう、様々な企画の検討や実施を求めます。例えば、道の駅を拠点に、子どもを中心にご家族も新たな発見ができるような仕掛けとして、市内農家との連携による農作業体験などをイメージします。



(4) モデルプラン



概算事業費等を整理するため、モデルプランを作成しました。当図はモデルプランであり、この通り整備するものではありません。今後選定される運営事業者等の意見を踏まえて更新されていくものとなります。

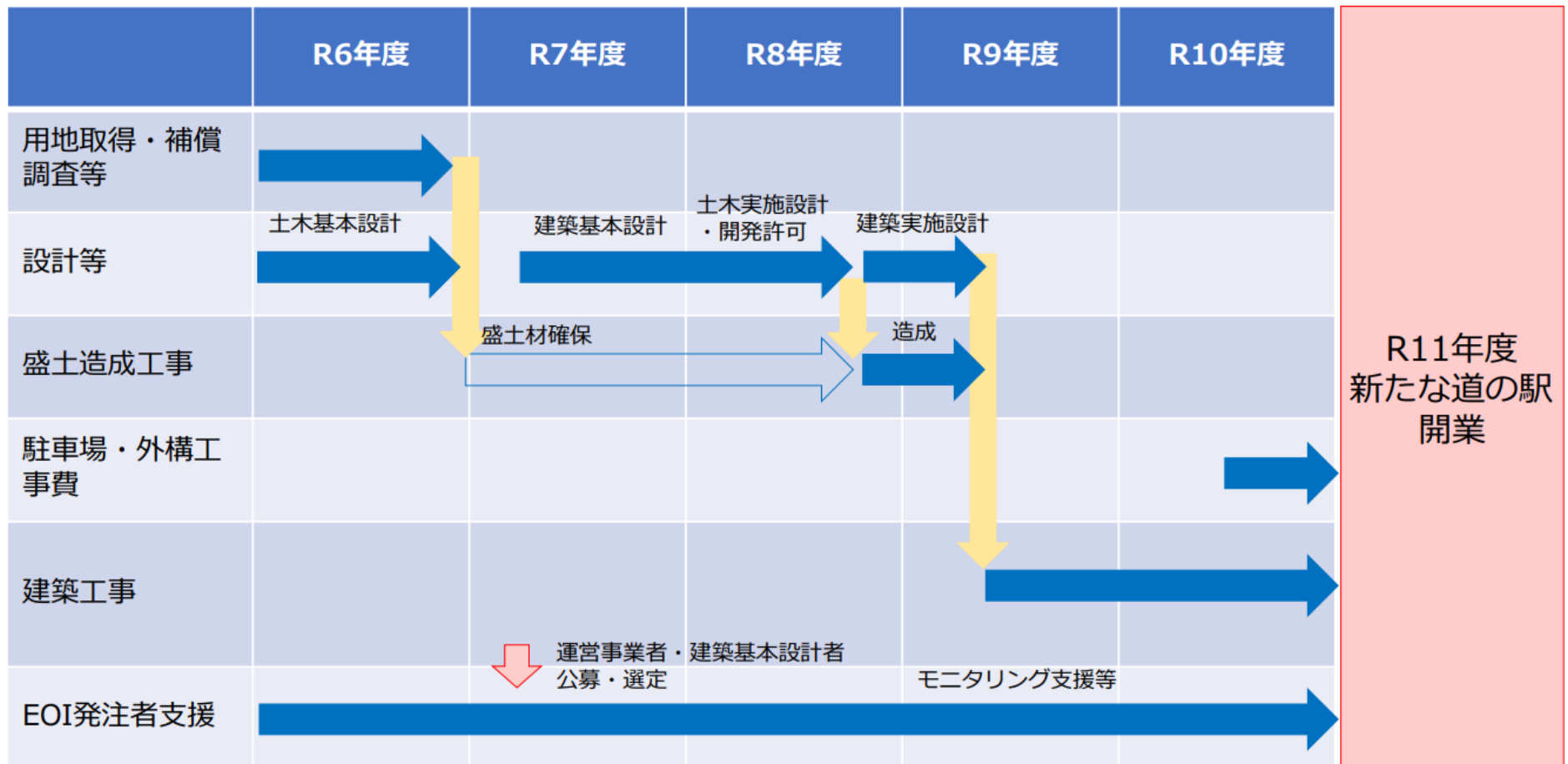




(2) 事業スケジュール

事業スケジュールは概ね以下のとおりとなります。

R6年度は運営事業者・建築基本設計者を公募するための準備期間となります。R7年度に公募・選定、R8年度に設計、R9～10年度にかけて本格的な工事を行い、R11年度初頭に開業するスケジュールとなります。



工業団地造成

産業導入地区の名称	団地の名称	備考
村山産業導入地区	河島工業団地	継続
	金谷工業団地	継続
	駅西地区	継続
	湯野沢南原地区	※新設検討

産業導入地区の所在、面積等

河島工業団地	村山市大字杉島	面積	5.7 ha
金谷工業団地	村山市金谷	面積	21.5 ha
駅西地区	村山市大字楯岡	面積	10.4 ha
湯野沢南原地区	村山市大字湯野沢	面積	4.6 ha



資料6-8

- 河島工業団地・金谷工業団地等を中心に機械金属加工の製造業が多く立地
- 湯野沢南原地区：国道347号に接道しており、近隣市町村や山形新幹線の村山駅や東北中央自動車道村山インターチェンジ・東根北インターチェンジへのアクセスが可能な地域。
- すでに複数の産業施設が立地しており、重要な開発区域である。

優良企業の誘致が新たな雇用機会創出、既存産業の活性化が期待される。

東沢バラ公園

環境省「かおり風景100選」認定の東沢バラ公園です。750品種、2万株の美しいバラと整備された公園をお楽しみください。



そば街道

そば街道発祥の地である村山市。村山市の風土が育んだ香りがたく、喉越しのよいそばをぜひ、ご賞味ください。



徳内まつり

村山の夏といえば「徳内まつり」。アップテンポなお囃子と力強い踊りでみなさんを魅了します。



観光・交流

村山市では、物産展等とおした都市間交流や、各村山会を設立し、村山市の魅力を全国に発信しています。



現 状（自動車道開通後の状況）

- ・バラまつり 秋田・福島からの来園者が増加傾向。
→秋田・福島への営業強化

目 標（利活用時の地域活性化施策）

- ・団体客の誘客を図るほか、ICT等利用し個人客へのPR強化
- ・そば街道、居合道体験、さくらんぼ狩り→市内観光地の周遊化

課 題

- ・広域連携（銀山温泉・蔵王・山寺）で村山市の観光素材と結びつけることによりPR等の強化を図る。（ツアー造成等の検討）

ご清聴ありがとうございました

村山市建設課

[TEL:0237-55-2111](tel:0237-55-2111) E-mail kensetsu@city.murayama.lg.jp

